

2021年5月17日

お取引先様 各位

白銅株式会社

### 日本軽金属株式会社製品に関するご連絡

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、日本軽金属株式会社（以下「日本軽金属」といいます）によるJIS認証取消しに関する発表に関して、大変ご心配をお掛けしており、お詫び申し上げます。

本日、弊社が販売しております標準在庫品の仕入先である日本軽金属から、同社に対して2021年5月14日にJIS認証機関より、JIS認証取消しの措置が行われたとの報告を受けました。

この報告を受けまして、日本軽金属製品の弊社標準在庫品（アルミ板製品）について下記の通りに対応させていただきますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

#### 1. JIS認証取消し対象商品について

1050切板、52S切板、ハイスペック2017切板、17S切板、ハイスペック6061切板、61S切板

#### 2. 弊社の対応について

今回のJIS認証取消しを受け、弊社は、日本軽金属に対し、弊社が納入を受けた製品に関する製品品質の問題につながる事象の有無の調査を求め、同社から添付の報告文書を受領致しました。圧延方向に平行、及び直角で試験片を採取し機械的性能の比較検査した結果、「現時点での限定されたn数ではあるが、JIS規格の定める規格値を確保できている」との報告を受けました。

従いまして、弊社は、「JIS適合規格品」(※)として販売を継続させていただきます。

※ 「JIS適合規格品」には、JISの認証を取得した商品「**JIS規格認証取得品**」と、メーカーがJIS規格の品質を保証した商品「**JIS規格メーカー保証品**」の2種類がございます。「**JIS規格メーカー保証品**」であっても、ミルシートにJIS規格番号の記載は可能となります。(弊社の標準在庫品カタログ2021 31ページ参照)

#### 3. 在庫商品と商品出荷について

(1) 2021年4月23日(金)時点の当社在庫製品は、「JIS規格認証取得品」として販売いたします。

(2) 2021年4月26日(月)以降の入荷製品は、「JIS規格メーカー保証品」として販売いたします。

(例) ミルシートには JIS H4000 ジュンキョ と記載されます。

#### 4. JIS規格認証取得製品ご指定のご注文時の対応について

JIS規格認証品が必要な場合：ご注文時に「JIS規格認証取得品」をご指定下さい。

日本軽金属製品ご指定の場合には、在庫が無くなり次第、「JIS規格メーカー保証品」(準拠)となります。

## 5. JIS規格認証取得品とJIS規格準拠品の違いと今後の入荷予定について

	ミルシート表記	今後の入荷予定
JIS規格認証取得品	JIS H4000	当面は入荷予定なし
JIS規格メーカー保証品 (準拠)	JIS H4000 ジュンキョ	JIS認証再取得まで継続 入荷予定

以上

2021年5月17日

白銅株式会社 御中

日本軽金属株式会社  
板事業部



弊社名古屋工場におけるアルミ板製品の JIS 認証取り消し処分について

このたび、弊社名古屋工場において法令違反となる事案を発生させました件に関して、お客様、お取引様をはじめ大勢の関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

弊社名古屋工場における JIS マーク表示製品について、JIS の認証機関である一般財団法人日本品質保証機構（以下「JQA」）により臨時認証維持審査（2021年4月22日～4月23日）を受けました。審査の結果、JQA から「鋳工業品及びその加工技術に係る日本産業規格への適合性の認証に関する省令に定める基準を満足しておらず、その内容が重大である」として、2021年5月14日付で名古屋工場の JIS 認証取り消しを行う処分通知を受け取りました。

JIS 認証の取り消しの原因となった不適切行為については、徹底した原因究明と再発防止策策定を行ってまいります。現時点で把握した不適切行為の内容は次のとおりです。

- ① 1996年頃から、日本軽金属名古屋工場のアルミ板製品の引張試験の試験片を採取する際、厚さ 6.5 mm 以上で非熱処理合金の板製品（以下「当該厚板」）において JIS の規定（圧延方向に対して平行）と異なる方法（圧延方向に対して直角）で採取した試験片にて引張試験を実施したにも関わらず、当該厚板に JIS マークを付して継続的に出荷していたこと
- ② JQA の更新審査（2020年2月）において、①の実態を偽り、更新審査用の当該厚板の試験片採取を行う際、JIS の規定に沿った試験片採取を行ったこと

記

1. 取り消し処分の対象

工場：日本軽金属株式会社 名古屋工場

認証番号：JQ0308004

JIS 規格及び名称：JIS H4000 アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

認証の区分：アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

2. 当該厚板製品の機械的性能の確認

不適切行為を行っておりました当該厚板製品に関して、圧延方向に平行、及び直角で試験片を採取し機械的性能の比較調査を実施しました。平行方向と直角方向で差異は小さく、現時点での限定された n 数ではございますが、JIS 規格の定める規格値を確保できていることを確認致しております。（詳細は添付の資料を参照下さい）

3. 貴社納入製品

当該厚板製品につきまして、JIS の規定に則った引張試験片を採取して測定することへの改定は完了しておりますが、今回の処分に於いて JIS 認証が取り消しとなったため、製品への JIS マーク表示ができなくなります。

臨時認証維持審査終了後の 4/26 弊社出荷分より、「JIS 準拠」品扱いとなり、ミルシートの表記につきましても、『JISH4000 ジュンキョ』と変更させていただきます。

4. 貴社納入済製品の引張試験

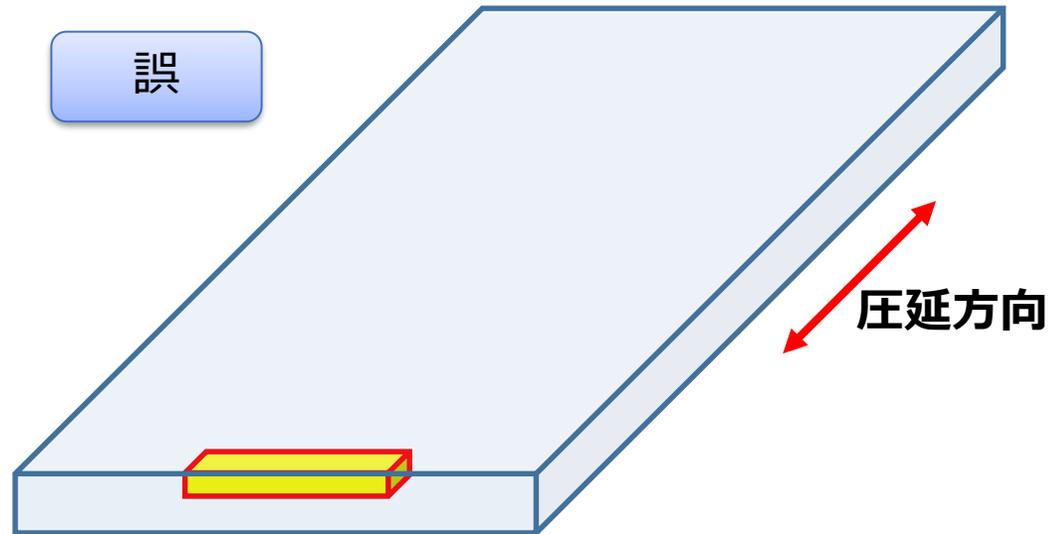
上記 2 にてご報告はさせていただいておりますが、既に納入させていただきました対象納入品（当該厚板）に関し、ご要望いただけましたら、JIS H4000 に定められた圧延平行方向にて引張試験を実施させていただきます。

5. 今後の対応

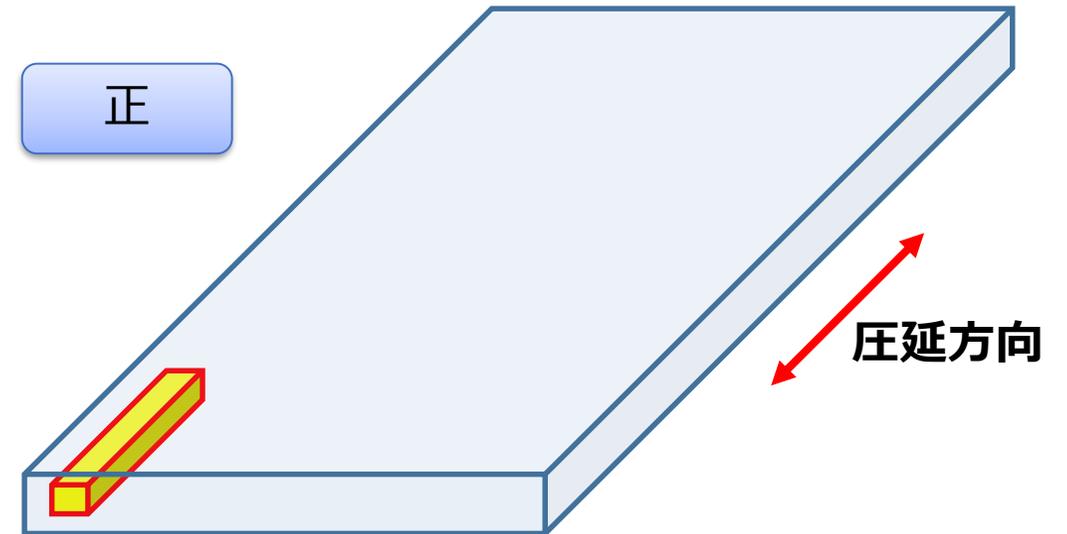
今後、抜本的な品質管理体制の見直しを行い、信頼回復に向けて全力で取り組み、できるだけ早期の JIS 認証の再取得を目指してまいります。

以上

- ・ 出荷前の材料試験として引張試験を実施している。
- ・ JIS H4000：引張試験を実施する際の試験片採取方向が規定されている。
- ・ 一部の製品においてJISの規定と異なった採取方向で試験片があり、その引張試験結果で適合性の判定をしていた。



圧延方向に直角で試験片採取



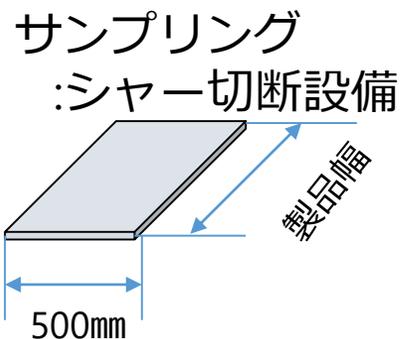
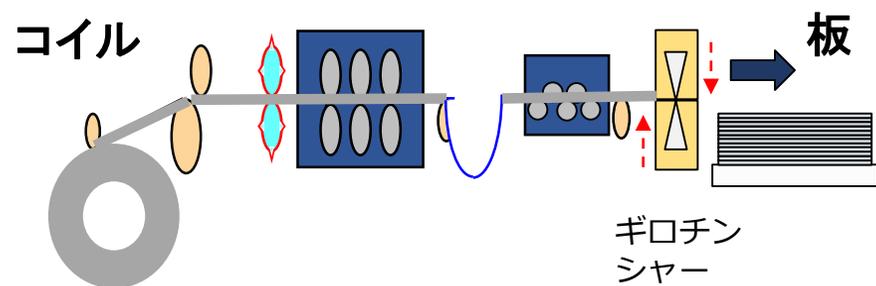
圧延方向に平行で試験片採取

# 不適合の対象(1) 板厚6.5mm以上

《シャー切断（板厚6.5mm未満）》

対象外

JISに適合した作業



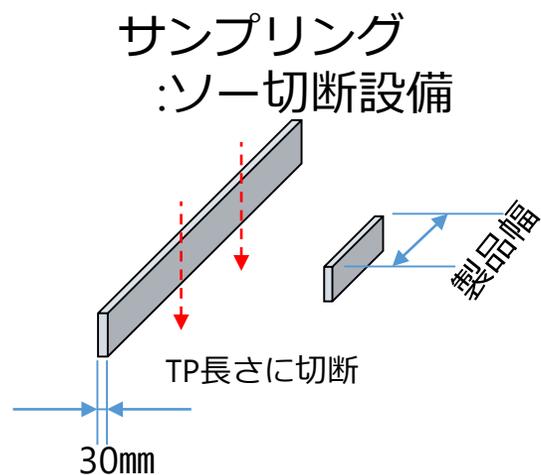
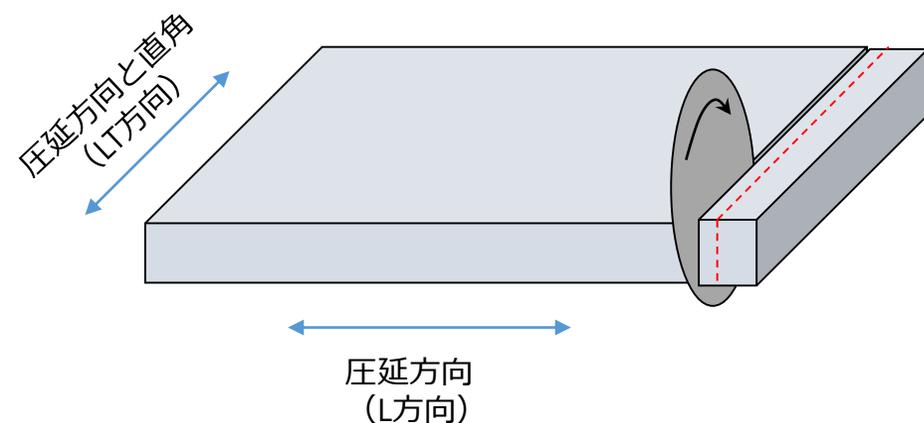
試験片への加工  
: JIS既定の方向を選択し加工



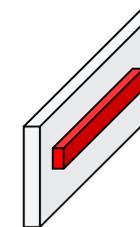
《ソー切断（板厚6.5mm以上）》

対象

試験片加工,試験  
: 圧延直角方向でしか試験出来ない



※ 運搬する重量や切断設備  
に制約がある為



J I S H 4 0 0 0

表 25－試験片の採取方向

JIS H4000 より抜粋

記号	採取方向
A1085P, A1080P, <u>A1070P</u> , <u>A1060P</u> , <u>A1050P</u> , A1050AP, <u>A1100P</u> , A1100AP ( <u>A1N00P</u> ), A1200P, A1230AP ( <u>A1N30P</u> ), <u>A3003P</u> , A3103P, A3203P, A3004P, A3104P, A3005P, A3105P, A5005P, A5110AP ( <u>A5N01P</u> ), A5021P, A5042P, A5050P, <u>A5052P</u> , <u>A5154P</u> , A5254P, A5454P, A5754P, A5456P, A5082P, A5182P, <u>A5083P</u> , <u>A5083PS</u> , A5086P, A8011AP, A8021P, A8079P	圧延方向に平行
A2014P, <u>A2014PC</u> , A2014AP, A2017P, A2017AP, A2219P, A2024P, <u>A2024PC</u> , A2124P, <u>A6101P</u> , A6061P, A6082P, A7010P, A7204P ( <u>A7N01P</u> ), A7050P, A7075P, <u>A7075PC</u> , A7475P, A7178P	圧延方向に直角。ただし、幅が狭く、採取できない場合は圧延方向に平行。

1050、1070、1100、3003、  
5052、5154、5083



**J I S に反して直角に採取していた合金種  
(板厚6.5mm以上)**

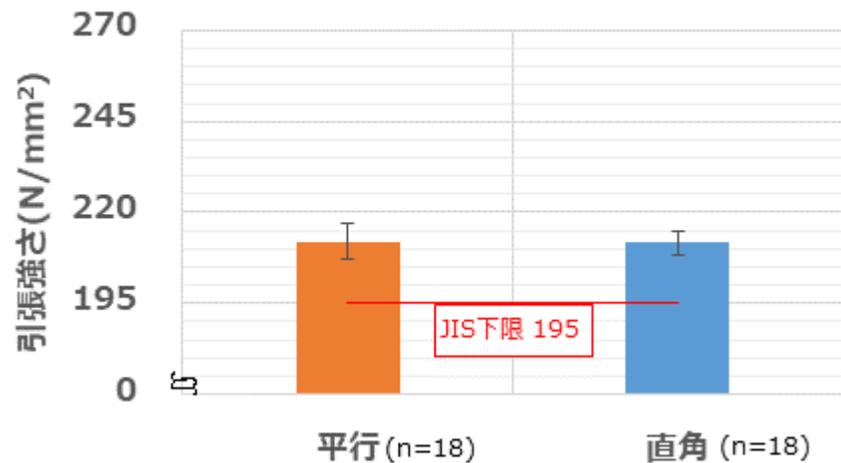
# 対象材のJIS規格

記号	質別	厚さ mm	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	耐力 N/mm <sup>2</sup>	伸び% A <sub>50mm</sub>
A5052P	H112	6.5を超え 13.0以下	195以上	110以上	7以上
		13.0を超え 50.0以下	175以上	65以上	12以上
		50.0を超え 75.0以下	175以上	65以上	16以上
記号	質別	厚さ mm	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	耐力 N/mm <sup>2</sup>	伸び% A <sub>50mm</sub>
A5083P	O	0.8を超え 40.0以下	275以上350以下	125以上200以下	16以上
		40.0を超え 80.0以下	270以上345以下	115以上200以下	
		80.0を超え 100.0以下	260以上	110以上	

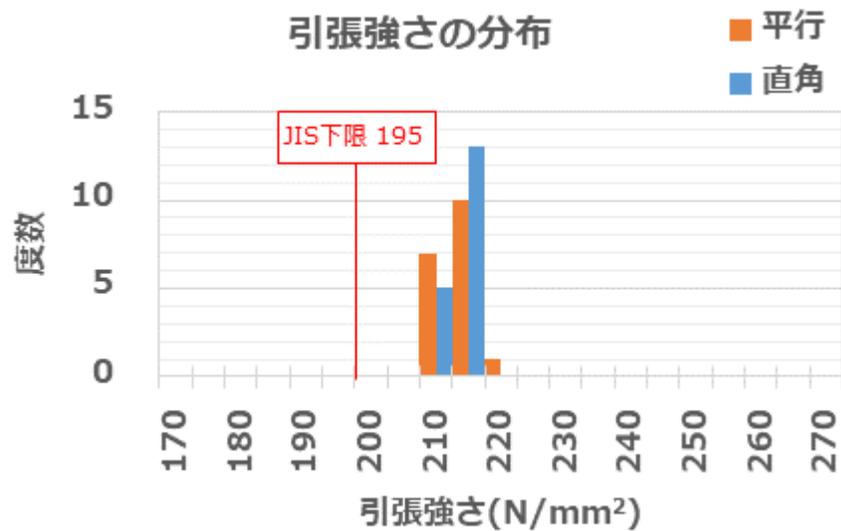
# 対象材のJIS規格

記号	質別	厚さ mm		引張強さ N/mm <sup>2</sup>	耐力 N/mm <sup>2</sup>	伸び% A <sub>50mm</sub>
A1050P	H112	4.0以上	6.5以下	85以上	45以上	10以上
		6.5を超え	13.0以下	80以上	45以上	10以上
		13.0を超え	25.0以下	70以上	35以上	16以上
		25.0を超え	50.0以下	65以上	30以上	22以上
		50.0を超え	75.0以下	65以上	20以上	22以上

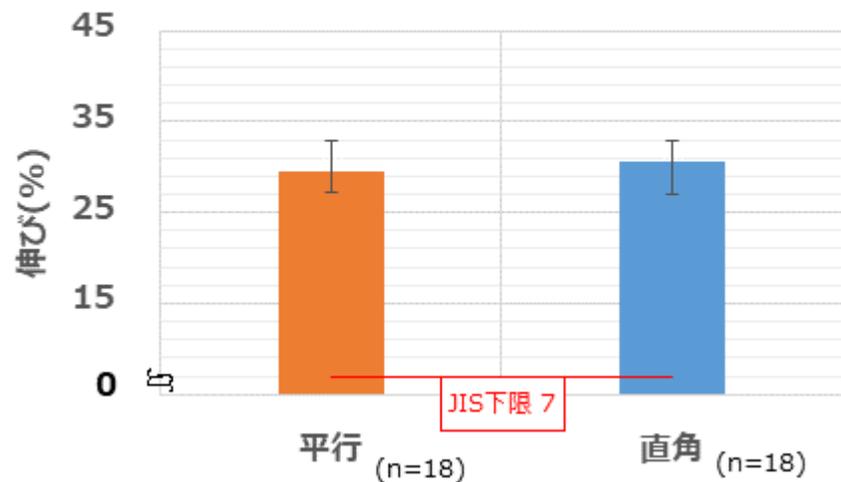
### 引張強さの差



### 引張強さの分布



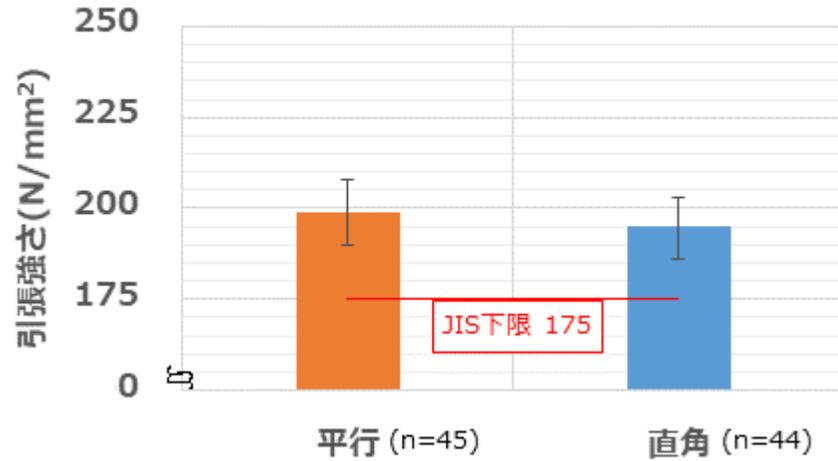
### 伸びの差



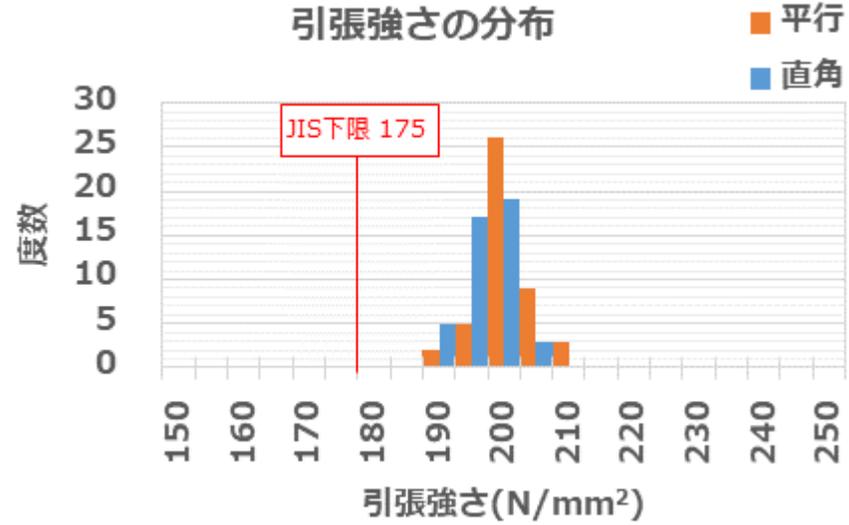
### 伸びの分布



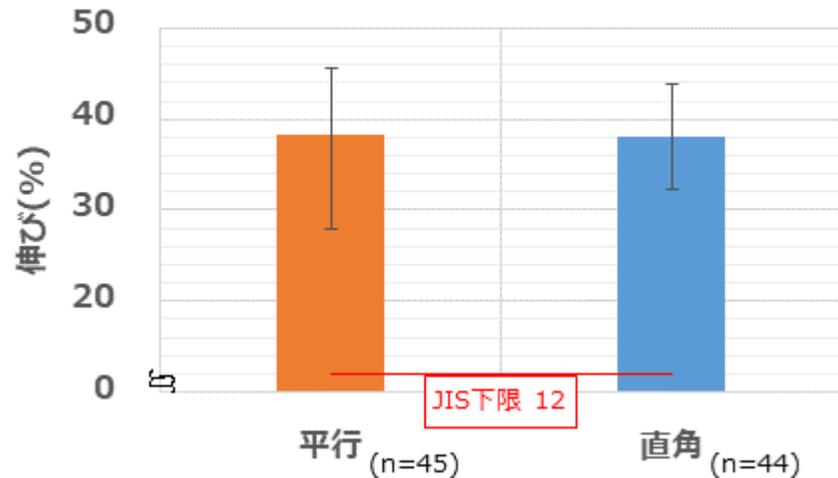
### 引張強さの差



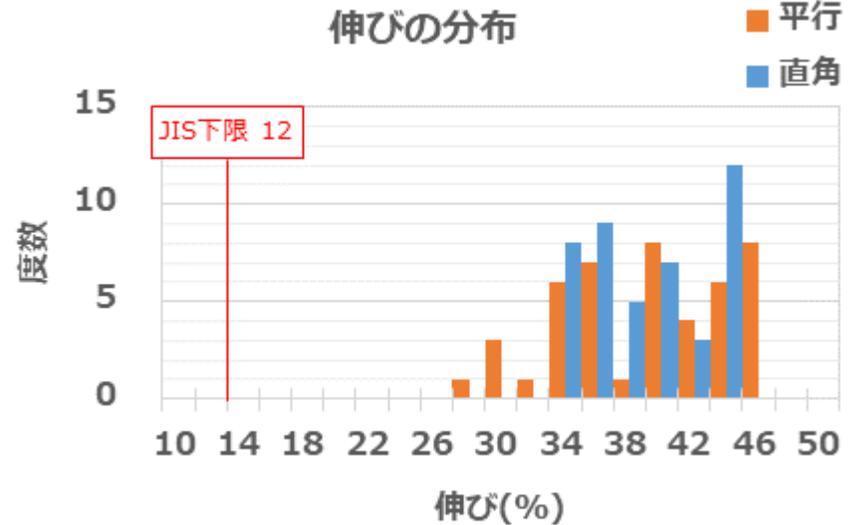
### 引張強さの分布



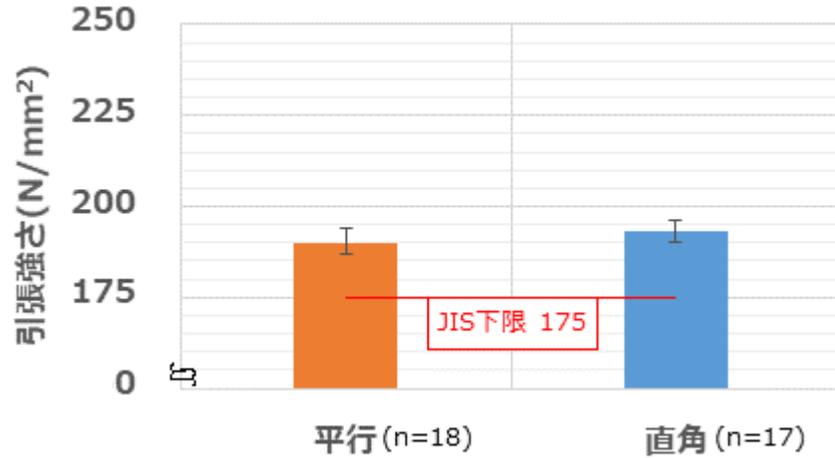
### 伸びの差



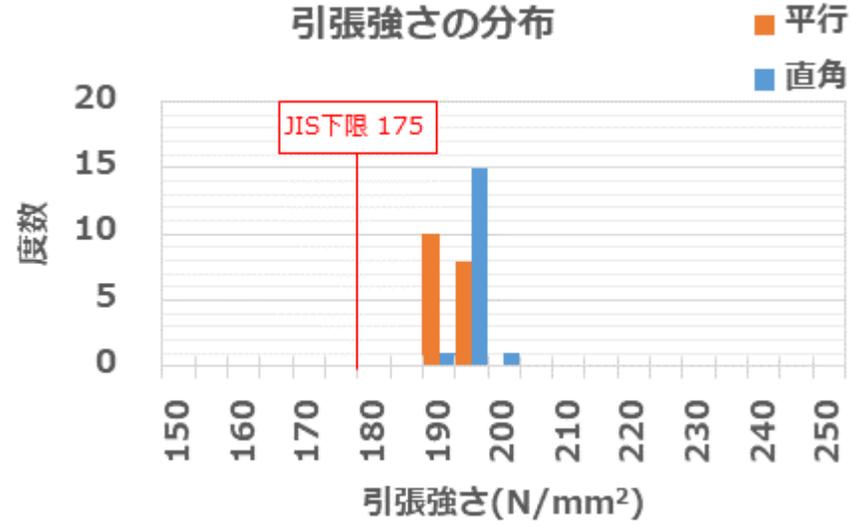
### 伸びの分布



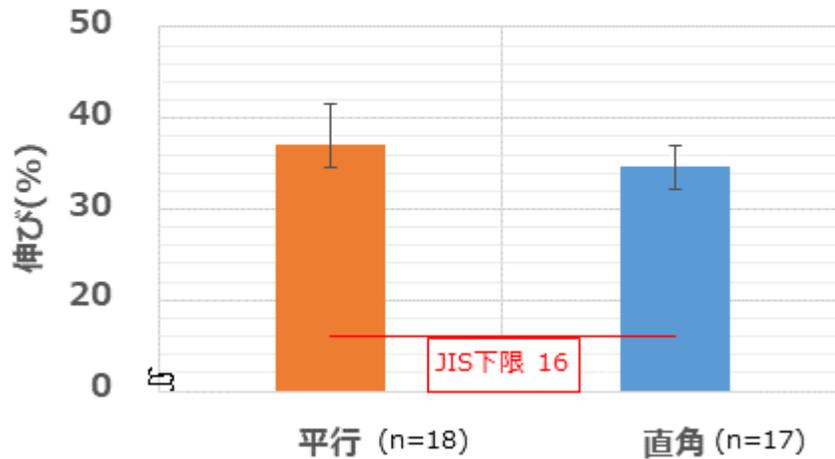
### 引張強さの差



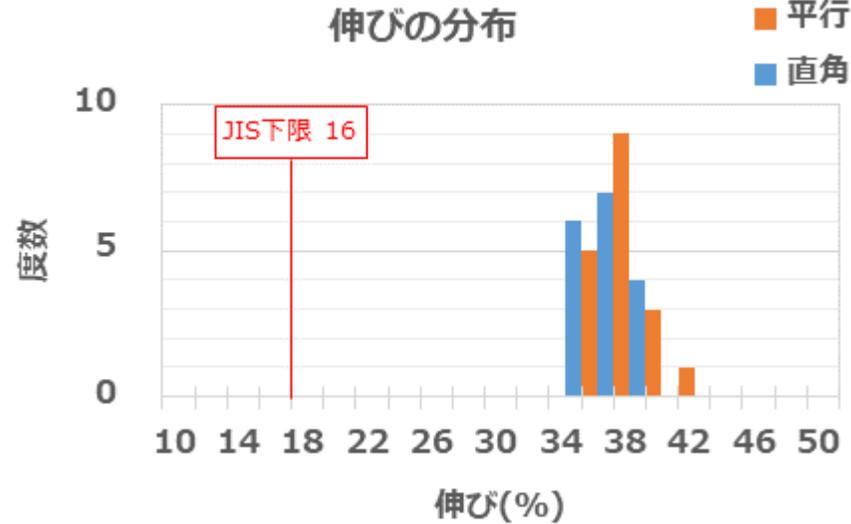
### 引張強さの分布



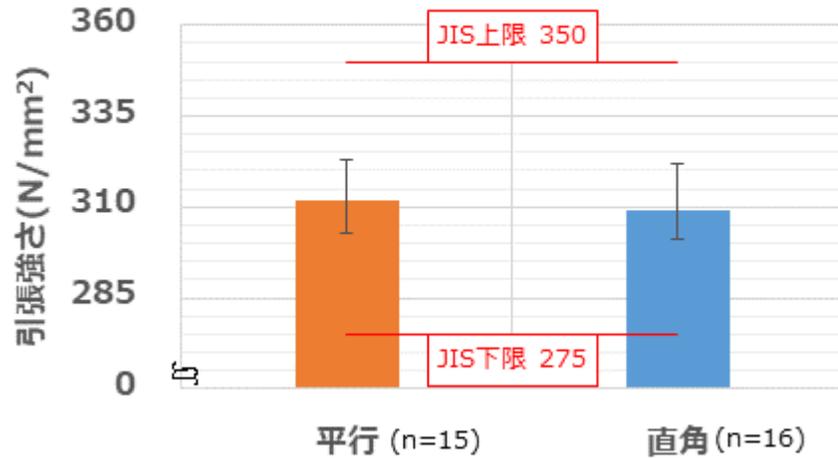
### 伸びの差



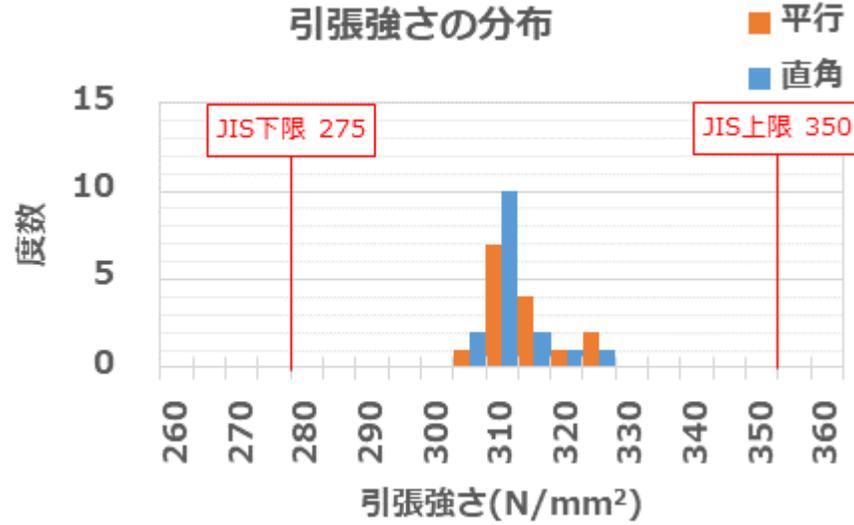
### 伸びの分布



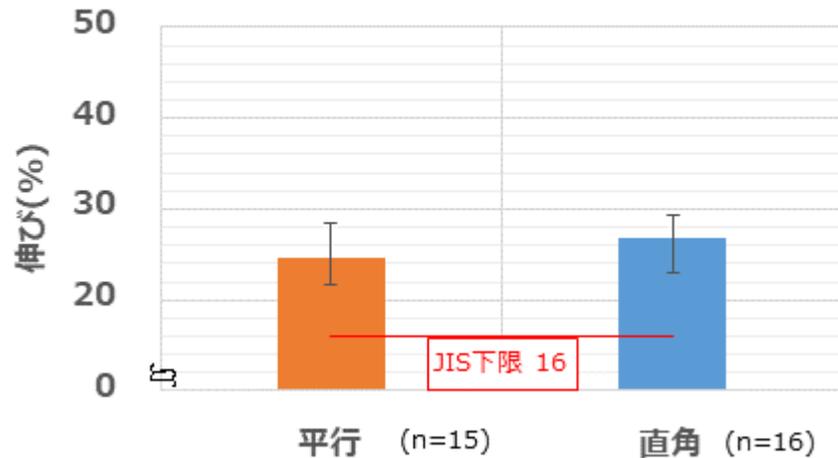
引張強さの差



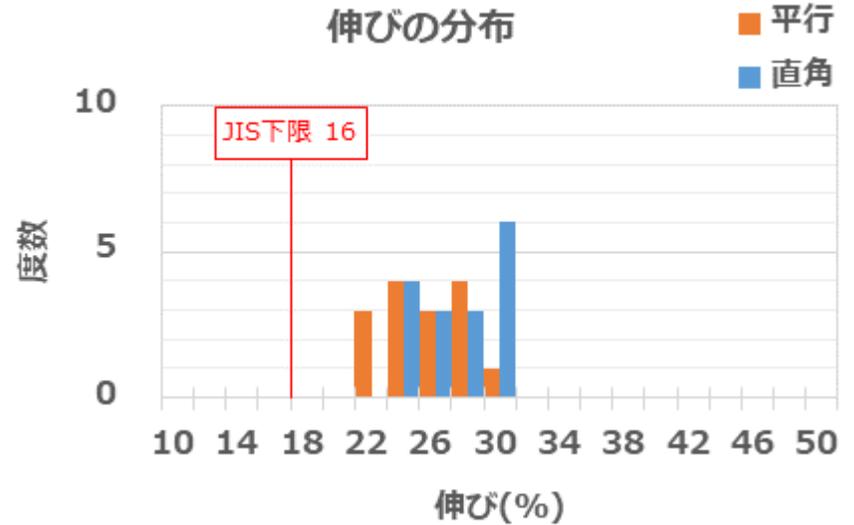
引張強さの分布



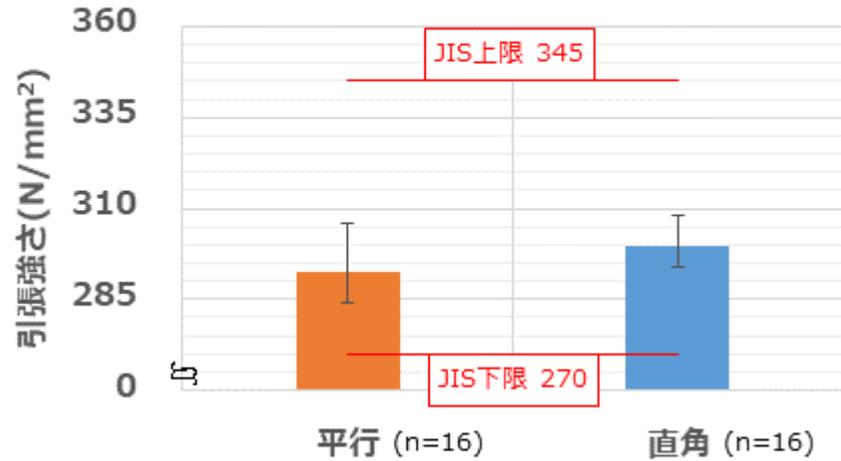
伸びの差



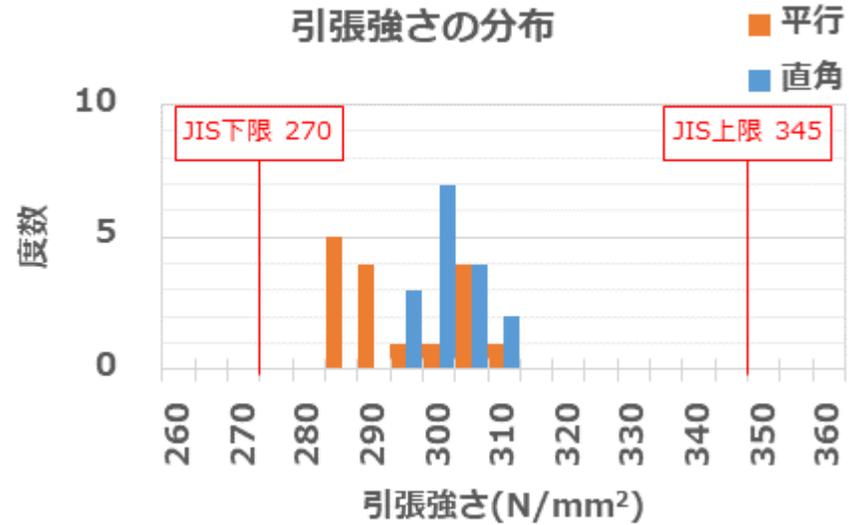
伸びの分布



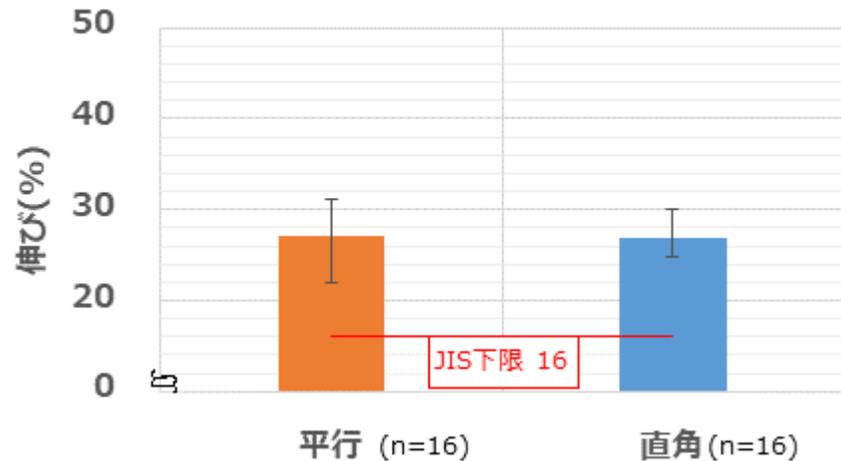
引張強さの差



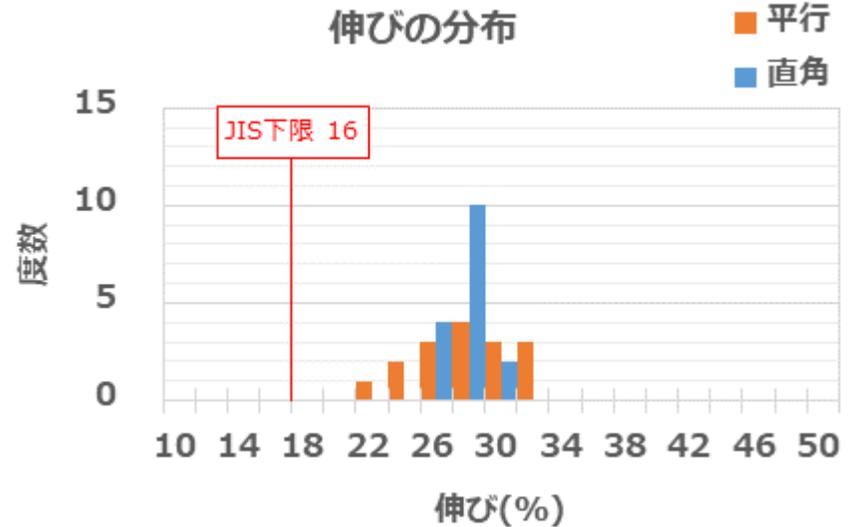
引張強さの分布



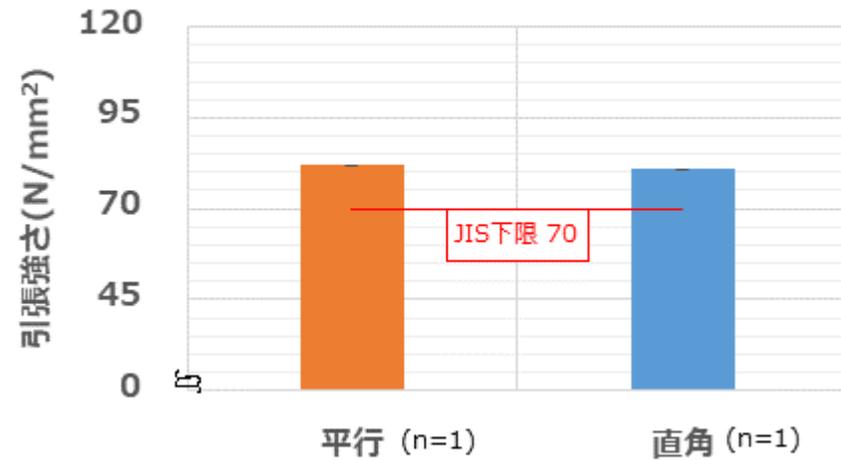
伸びの差



伸びの分布



### 引張強さの差



### 伸びの差

